

**共通**

- ・ 年月は、すべて令和〇〇年など「和暦」で表記してください。
- ・ 年齢は、任用予定年月日時点での満年齢を記入してください。

**履歴書（様式1）**

**学歴**

- ・ 高等学校および同等以上と認められる学校の卒業以上の学歴をすべて記入し、最終学歴については所定欄に記入してください。
- ・ 大学院（新制）の博士課程を出て、博士号を取得していない場合の学歴は、「博士課程（後期課程）中途退学」、「博士課程（後期課程）単位取得退学」、「博士課程（後期課程）満期退学（学修）」のいずれかを記入してください。
- ・ 大学院（新制）の博士課程を出ると同時に博士号を取得した場合（課程博士）は、「博士課程（後期課程）修了」と記入してください。
- ・ 外国留学（3ヶ月以上）については、学生としての留学の場合は「学歴」欄に、研究者としての留学の場合は「職歴」欄に記入してください。

**職歴**

- ・ 各職歴について、期間を明確に記入し、現職については「現在に至る」と明記してください。
- ・ 大学等に専任として就任後の非常勤講師等担当については記入しないでください。
- ・ 担当科目名等の詳細は、「担当科目一覧」（様式3）に記入してください。

**教育研究業績書（様式2-1）**

**<研究業績等に関する事項>**

**著書、学術論文等の名称**

- ・ 編著書、学術論文及び学会発表等の主要な業績について、この順に区分し、それぞれ年月日順（過去→現在）に番号を付して記入してください。

**単著・共著の別**

- ・ 1冊の本を数人で執筆した場合、当該部分は単著であっても共著としてください。
- ・ 共著の場合で本人の担当部分を抽出するのが困難な場合は、その理由を明記してください（例：共同研究につき本人担当部分抽出不可能）。

**発行又は発表の年月**

- ・ 学会誌等において発表予定のものについては、その旨を明記してください。
- ・ 投稿予定のものは含めないでください。

**発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称**

- ・ 発表学会誌等は、名称の他、巻、号等まで明記してください。
- ・ 学位論文については、その旨明確になるよう記述してください。

## 概 要

- ・ それぞれの業績の概要及び執筆頁数について 200 字程度で簡潔に記述してください。
- ・ 査読審査の有無を明示してください。
- ・ なお、共著の場合は、本人の担当部分の概要及び掲載頁（例 p〇～p〇）を明記し、また、本人の氏名を含め著作者全員の氏名を当該編著書、学術論文等に記載された順に記述してください。

## 備 考

- ・ 「作曲」に係る業績については、出版の日付と発行所及び初演の日付と会場を記載（再演は不要）してください。
- ・ 「美術」に係る業績については、展覧会等の発表の日付と会場を記載してください。

### 教育研究業績書（様式 2-2）

#### <教育上の能力に関する事項>

##### 1. 教育方法の実践例

- ・ 授業内容、方法に関してどのような工夫を行い、どのような成果をあげたか簡潔に記述してください。
- ・ 必要に応じて成果物（作成教材等）を添付してください（研究業績との重複可）。

##### 2. 作成した教科書、教材

- ・ 授業や研修指導などで作成した教科書や教材等について記述してください。

##### 3. 教育上の能力に関する大学等の評価

- ・ 各大学での自己点検評価、学生による授業評価、第3者評価など客観性をもった刊行物等があればそれを表記し、必要に応じて刊行物（該当部分のみのコピー可）を添付してください。
- ・ その他、教育実績に対する受賞歴、教育改善に関する団体等での活動の実績がある場合は記述してください。

##### 4. 実務の経験を有する者についての特記事項

- ・ 学生指導、実習指導等についての取り組み、公開講座やシンポジウムの講師などの実績がある場合は記述してください。

### 教育研究業績書（様式 2-3）

#### <職務上の実績に関する事項>

##### 1. 資格、免許

- ・ 医師、看護師、教員等の資格で担当予定授業科目に関係するものを記述してください。

##### 2. 特許等

- ・ 特許、実用新案等で担当予定授業科目に関係するものを記述してください。

##### 3. 実務の経験を有する者についての特記事項

- ・ 大学との共同研究、各種審議会・行政委員会における委員、行政機関における調査官、研究会・ワークショップでの報告や症例発表などがある場合に記述してください。
- ・ 大学等での管理運営業務等の実績がある場合は記述してください。

##### 4. その他

- ・ 職能団体からの実務家としての卓越性に関する評価・推薦、論文の引用実績等があれば記述してください。

### **担当科目一覧（様式3）**

- ・ 担当した科目の一覧を記入してください。
- ・ 機関名（大学学部、大学院研究科等）、任用形態（専任、非常勤等）、期間（現職については「現在に至る」）を明確に記述してください。
- ・ 大学等に専任として就任後の非常勤講師等担当については記述しないでください。

### **担当予定科目の授業計画（様式4）**

- ・ 授業のねらい、学生の到達目標を明確に記述したうえで、進め方を中心に、募集要項に指定している授業科目の授業計画書（シラバス）を作成してください。
- ・ その他、教育についての考え方を自由に記述してください。

※ 様式2-1、2-2、2-3の記入方法については、文部科学省の教員個人調書記入要領も参考にしてください（文部科学省ホームページに掲載）

### **【社会福祉士実習・演習】教員に関する調書（様式4-①及び様式4-②）**

- ・ 記入例を参照の上、「相談援助実習指導及び相談援助実習」及び「相談援助演習」の両科目について記入してください。
- ・ 資格要件を満たさない場合であっても、指針該当番号欄の「非該当」に○をつけた上で、必ず提出してください。
- ・ 社会福祉士実習演習担当教員講習会を修了した者については、当該講習会の修了証(写)を、社会福祉士資格を有する者については、当該資格の登録証(写)を、それぞれ添付してください。

以上

記入例：教員に関する調書（様式4-①）

◇以下、(ア)「大学等において、教員として、相談援助実習指導及び相談援助実習を5年以上担当した経験を有する方」の記入例  
(様式4-①)

【社会福祉士指定科目(実習・演習)】教員に関する調書

大学等名	日本福祉大学				
氏名	福祉 花子	性別			
生年月日	1972年7月16日 年齢(43歳)				
最終学歴 (学部、学科、専攻)	日本福祉大学大学院 博士前期課程 修了	募集要項の「9その他」の各科目にかかる科目担当資格要件 ア～エから、該当する記号を選択し、ご記入ください。			
担当科目	ソーシャルワーク実習指導及びソーシャルワーク実				
教員 資格 要件	指針該当番号		4-(3)-イ-(ア)・非該当		
	社会福祉士実習演習担当教員講習会		1. 修了 (修了年月・年) ②. 未修了		
	教育 歴 ・ 職 歴	名称	教育内容又は業務内容	科目担当教員要件を満たさない場合には、「非該当」に「0」をつけてください。	
		〇〇大学 △△学部●●学科	非常勤講師 (社会福祉援助技術現場実習指導、 社会福祉援助技術現場実習、相談援助 実習指導、相談援助実習)		2005年4月～現在 (10年3ヶ月)
		合計			当該科目の担当歴の合計期間をご記入ください。 10年3ヶ月
	資格 ・ 免 許 ・ 学 位	名称	取得機関	取得年月日	
担当予定科目に関する 研究発表又は論文 (主なもの)	名称	年月			

※教歴・職歴・資格等については、科目担当教員資格要件を証する事項のみをご記入ください(科目担当教員資格要件に直接関係のない事項については、本調書へ記入しないでください)。

- (注1) 実習演習担当教員ごとに作成すること。
- (注2) 社会福祉士実習演習担当教員講習会を修了した者については、当該講習会の修了証の写しを添付すること。
- (注3) 「資格・免許・学位」欄に記載した資格等については、当該資格証等の写しを添付すること
- (注4) 実務経験の対象となる業務は、「指定施設における業務の範囲等及び介護福祉士試験の受験資格の認定について」(平成23年2月7日 社援発0207第7号)を参照のこと。

**記入例：教員に関する調書（様式4-②）**

◇以下、(ウ)「社会福祉士資格取得後、相談援助業務に5年以上従事した経験を有する方」の記入例（様式4-②）

**【社会福祉士指定科目実習・演習】教員に関する調書**

大学等名	日本福祉大学				
氏名	福祉 太郎	性別			
生年月日	1970年6月16日 年齢（45歳）				
最終学歴 (学部、学科、専攻)	日本福祉大学 第1部 卒業	募集要項の「9その他」の各科目にかかる科目担当資格要件 ア～エから、該当する記号を選択し、ご記入ください。			
担当科目	ソーシャルワーク演習及びソーシャルワーク実習				
教員 資格 要件	指針該当番号		4-(3)-ア-(ウ)・非該当		
	社会福祉士実習演習担当教員講習会		1. 修了 (修了年月: 年) ②. 未修了		
	教育 歴 ・ 職 歴	名称	教育内容又は業務内容	科目担当教員要件を満たさない場合には、「非該当」に「○」をつけてください。	
		社会福祉法人〇〇会 特別養護老人ホーム ▲▲荘	生活相談員 (相談援助業務)		1993年4月～ 2000年3年(7年)
		社会福祉法人●●会 特別養護老人ホーム (指定介護老人福祉 施設)△△苑	生活相談員 (相談援助業務)		2000年4月～ 現在(15年3ヶ月)
	合計		22年3ヶ月		
	資格 ・ 免 許 ・ 学 位	名称	取得機関	取得年月日	
社会福祉士		財団法人社会福祉振興・試験センター	1993年4月1日		
社会福祉士資格の登録証(写)を添付 してください。					
担当予定科目に関する 研究発表又は論文 (主なもの)	名称	年月			

※教歴・職歴・資格等については、科目担当教員資格要件を証する事項のみをご記入ください（科目担当教員資格要件に直接関係のない事項については、本調書へ記入しないでください）。

- (注1) 実習演習担当教員ごとに作成すること。
- (注2) 社会福祉士実習演習担当教員講習会を修了した者については、当該講習会の修了証の写しを添付すること。
- (注3) 「資格・免許・学位」欄に記載した資格等については、当該資格証等の写しを添付すること。
- (注4) 実務経験の対象となる業務は、「指定施設における業務の範囲等及び介護福祉士試験の受験資格の認定について」（平成23年2月7日 社援発0207第7号）を参照のこと。

**記入例：スクールソーシャルワーク教育課程 教員に関する調書（様式5）**

（様式1-3）

**教員に関する調書兼就任承諾書**

・この様式に担当要件に係る教授歴等を記載

教員調書 No. \_\_\_\_\_

該当する□に✓を入れ、記載してください。

養成校等	・（様式1-2：別紙）の 教員調書番号と一致	
	所属（学部学科名等）	
	<input type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 非常勤      （職位）	
ふりがな		
氏名	姓	名
生年月日	西暦      年      月      日生（満      歳）	
担当する科目名	科目名	該当する教員要件（複数可）
	<input type="checkbox"/> スクール（学校）ソーシャルワーク論	通知5-(1)-①-
	<input type="checkbox"/> スクール（学校）ソーシャルワーク演習	通知5-(1)-②-
	<input type="checkbox"/> スクール（学校）ソーシャルワーク実習指導	通知5-(1)-③-
	<input type="checkbox"/> スクール（学校）ソーシャルワーク実習	通知5-(1)-③-

大学院において社会福祉学に関する学問領域を専攻して修了した者	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ 「はい」の場合、修了した学校学部学科、専攻名      （学位）				
担当科目に関する研究業績・論文等（主なもの）、学校とソーシャルワークに関わる学術論文	名称	掲載誌等	年月		
学会及び社会における活動等					
社会福祉士・精神保健福祉士資格の有無（有する資格に✓）	<input type="checkbox"/> 社会福祉士      （      年資格取得・登録番号      番） <input type="checkbox"/> 精神保健福祉士      （      年資格取得・登録番号      番） <input type="checkbox"/> 認定社会福祉士（児童・家庭分野） <input type="checkbox"/> 認定精神保健福祉士 <input type="checkbox"/> なし				
	養成校名	担当科目	専任・非常勤の別	期間（現在に至る場合は「現在」に○）＜西暦＞	5年以上なら <input checked="" type="checkbox"/>
ソーシャルワーク系科目、社会福祉・精神保健福祉の実習演習科目、児童生徒の福祉に関する科目の教員歴	・SSW 専門科目群担当教員要件5-(1)-①-へに係る教授歴を記載 ・SSW 専門科目群担当教員要件5-(1)-①-ロに係る教授歴を記載 ・SSW 専門科目群担当教員要件 5-(1)-②-ホ)及び5-(1)-③-ホ)の要件で教授歴に係る場合は内容を記載 ・行が足りない場合は、追加または別紙添付でも可		専任	自：      年      月	<input type="checkbox"/>
			非常勤	至：      年      月（現在）	
			専任	自：      年      月	<input type="checkbox"/>
			非常勤	至：      年      月（現在）	
			専任	自：      年      月	<input type="checkbox"/>
			非常勤	至：      年      月（現在）	

(様式1-3)

<裏面>

教員調査 No. \_\_\_\_\_

該当する□に✓を入れ、記載してください。

	施設・機関等名		業務内容・職種		専任・非常勤の別	週所定労働日数	期間（現在に至る場合は「現在」に○）<西暦>	5年以上なら
						日	自： 年 月 至： 年 月（現在）	☐
児童の福祉に関する相談援助の実務経験歴					専任 非常勤	日	自： 年 月 至： 年 月（現在）	☐
					専任 非常勤	日	自： 年 月 至： 年 月（現在）	☐
					専任 非常勤	日	自： 年 月 至： 年 月（現在）	☐
スクールソーシャルワーカー実務経験歴	職種	所属する（した）学校、機関、自治体名		職名		週の勤務日数又は頻度	期間（現在に至る場合は「現在」に○）<西暦>	5年以上なら
	☐SSW ☐SSW SV						自： 年 月 至： 年 月（現在）	☐
	☐SSW ☐SSW SV						自： 年 月 至： 年 月（現在）	☐
	☐SSW ☐SSW SV						自： 年 月 至： 年 月（現在）	☐
社会福祉士・精神保健福祉士実習演習担当教員要件の有無と、同講習会修了等状況 （「あり」の場合は、その満たす要件や修了年度、受講No等を記入してください）								
	有無	要件		講習会修了年度	講習会受講No			
社会・基礎分野								
精神・基礎分野								
社会・演習教員要件	☐あり ☐なし							
精神・演習教員要件	☐あり ☐なし							
社会・実習教員要件	☐あり ☐なし							
精神・実習教員要件	☐あり ☐なし							
「要件」欄は、「演習」「実習」担当教員の「要件」の以下の番号を記入してください。 ①：大学、大学院、短期大学等の教員として社会福祉士/精神保健福祉士の養成に係る実習/演習の指導に関し5年以上の経験を有する ②：専門学校等の専門課程の専任教員として社会福祉士/精神保健福祉士の養成に係る実習/演習の指導に関し5年以上の経験を有する ③：社会福祉士又は精神保健福祉士の資格を取得した後、相談援助の業務に5年以上従事した経験を有する ④：社会福祉士/精神保健福祉士の実習/演習の教員講習会を修了している ⑤：その他								
本連盟が実施する研修会（「スクールソーシャルワーク教育課程専門科目群担当教員講習会」）の修了の有無		☐ なし ☐ 現在受講中/修了予定 ☐ 修了（ 年度修了 受講No 番）						
上記のとおり相違ありません。 また、上記スクール（学校）ソーシャルワーク教育課程担当科目名に記載する科目を担当することを承諾します。  年 月 日  氏名 印								

・①・②に該当する者はその教員歴を表面下部の教員歴欄に記載  
・③に該当する者はその従事歴を裏面上部の実務経験歴欄に記載（児童福祉に関する実務経験以外も含む）